



9
 2017

主題 (2017/2018)	
国際会長	Friendship across the borders Let us walk in the Light-together 「国境なき友情」 「ともに、光の中を歩こう」
アジア会長	Respect Y's Movement Solidify the Ys Men Family for Better World. 「ワズ運動を尊重しよう」「よりよい世界のため、Ysファミリーの絆を強めよう」
西日本区理事	Healthy mind & healthy body make healthy club 2022年にむけて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
中西部会長	Hope for the Future 「未来には希望がある」
大阪クラブ会長	Exchange the Neighborly Love 「隣人愛を実践しよう！」

会長	牟 大
直前会長	北 村 知
副会長	三 森 嶋 弘
	豊 島 正
書記	利 本
会計	脇 博
ブリテン	博 清
連絡主事	水 汎

【今月の聖句】

ところが、舟は既に陸から何スタディオンか離れており、逆風のために波に悩まされていた。夜が明けるところ、イエスは湖の上を歩いて弟子たちのところに行かれた。弟子たちは、イエスが湖上を歩いておられるのを見て、「幽霊だ」と言っておびえ、恐怖のあまり叫び声をあげた。イエスはすぐ彼らに話しかけられた。「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない。」すると、ペトロが答えた。「主よ、あなたでしたら、わたしに命令して、水の上を歩いてそちらに行かせてください。」イエスが「来なさい」と言われたので、ペトロは舟から降りて水の上を歩き、イエスの方へ進んだ。しかし、強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言われた。そして、二人が船に乗り込むと、風は静まった。船の中にいた人たちは、「本当に、あなたは神の子です」と言ってイエスを拝んだ。

マタイによる福音書 第14章 24～33節

【聖句に寄せて】

田尻 忠邦

人生は良く航海にたとえられます。ここではイエスさまが、まだ心を固く閉ざし、イエスさまの教えを悟らない弟子たちに、海で遭うことになる試練を通して、人生の教訓を教えられるのでした。人生の道で耐え忍びにくい試練に遭い、自力では一歩も前に進んでいくことができない、そして止まってしまった時、私たちは主イエスさまに向かって大声で叫ぶべきです。その叫び声がまさに祈りであり、祈りも訓練が要るものだからです。

誰もが思いもよらない苦難に陥ったり、または誘惑の罠にはまったりして、前に進めずその場で戸惑う時があります。その時人々は風に逆らって櫓を漕ぐ人も、又、人生の方向を失い、漂流する人も居ます。またある人は傷を負った心のせいで、そこに立ち止まり、航海を諦める人も居ます。

しかし1つ私たちが覚えるべきことは、私たちが海のどこに居ても、私たちは神の子であり、私たちのそばにはいつも私たちのことを見守り、導いてくださるイエスさまがいらっしゃるということです。その

方はいつも私たちに眺められ、私たちの叫び声に敏感に反応され、いつも私たちに危機から守ってくださるのです。(日本聖公会沖縄教区 小禄マタイ教会フェイスブックより一部引用)

【巻頭雑感】

清水 汎

終戦から72年が経ちました。日本政府もアメリカ政府も戦時中の未発表の出来事が、テレビ、新聞、その他で表面化されるようになりました。

終戦前後の2年間は、多くの国民が言葉に表せない悲惨な目に会ってきました。大東亜戦争の死者310万人の半数近くは、この時期に亡くなられたと思います。国内へのB29による無差別爆撃、広島、長崎への原爆投下、日本の大都市、中都市への全滅作戦、沖縄への全滅攻撃、戦地では、武器が不足する中、普通の神経では考えられない突撃攻撃、玉砕がありました。

日本政府は、戦争続行を唱え、国民の苦しみを理解せず、精神論の戦争を唱えるのみでした。260年の鎖国政策で外国のことを、国民の多くがよく理解出来ない中、明治政府は天皇を神格化し、軍部首脳が統帥権により富国強兵の強硬策で、国民の多くが世界各地に派兵され、また満州国への強制移民で多くの死者、残留孤児をだし、海外から620万人と言われる引揚者が生まれたのです。日本は降伏せず突撃を繰り返す民族で、理解できない異民族と見られました。そのためアメリカ等の全滅作戦攻撃を受けたと思われまます。

このような悲劇を繰り返さないためには、世界の人物、心をよく理解し、多くの交わりを持つことが大事と思われまます。ワイズは、世界を理解し、多くの交わりを持つことができます。この組織を大切にし、YMCAを支援しながら世界との繋がりを大事にすることが大切と思われまます。

【9月例会プログラム】 (メネット月間)

と き：2016年9月12日(火) 18:30~20:30

と ころ：土佐堀YMCA 904・5号室

会 費：ビジター 1000円

司会：脇本真知子メネット会長

1. 開会の鐘 牟大盛会長
2. クラブソング
3. ゲストメネット紹介
4. 会長報告
5. 「日々の糧」斉唱・晚餐
6. 会食
7. 講演「小児医療と国際貢献」 講師：脇本麻由子先生
8. 「HH国際キャンプ報告」藤岡宏樹・HHリーダー会
9. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
10. インフォメーション
11. YMCAニュース

受付：北村・崔メネット

★今月の誕生日：牟大盛（1）、尾和信孝（10）

★メネットさんお誕生日：清水佐智子（10）、北村信子（11）

★ご結婚記念日：なし

【9月スピーカー 脇本 麻由子さん】

脇本 博

タイトル 『小児医療と国際貢献』

プロフィール

H19年近畿大学医学部卒業後、同付属病院で初期研修修了。H21年大阪大学医学部付属病院にて麻酔科専攻。H22年大阪府立急性期・総合医療センター（旧府立病院）麻酔集中治療科勤務。H24年大阪大学医学部付属病院 集中治療部勤務。H25年大阪府立母子保健総合医療センター 麻酔科勤務等、数々の研鑽を積み、麻酔科専門医として特に小児麻酔の分野ではご活躍されておられます。また、Smile Asia, Novic Cardiac Alliance, Health Volunteer Overseas、アジア小児麻酔学会等の国際組織を通じて、インドネシア、ブータン、マケドニア、ラオス、モルディブなど各国に赴き、ボランティアとして小児麻酔に携わり、また要請を受けて現地の医師を指導しています。現在もボランティアの仕事が続けるかたはら帝京大学大学院に籍を置き、疫学・統計学を学修し、国際保健や社会疫学の研究を続けておられます。

【第2例会のご案内】

と き：2016年9月19日（火） 19:00～21:00

と ころ：大阪土佐堀YMCA 703号室

（変更になることもあります）

【8月出席状況】

区 分	在籍数	出席数 (%)	メネット	ビジター ゲスト
正会員	12	7 (58.3)	2	5
広義会員	1	0	0	
計	13	7	2	5

☆ニコニコ献金； 20,600円

★メネット；脇本真知子メネット会長、 崔金順

★ビジター；今井利子さん（大阪なかのしま）

★ゲスト；林貴子さん（大阪Y職員）、 勝矢千晶さん（HHリーダー会）、
笠井賢一郎さん（HH キャンプサポートスタッフ）
小山 怜 さん（ " " ）

【2017年8月納涼例会報告】

北村 知三

8月8日(火)、前日5号台風が通り過ぎて、キャッスルホテル6階宴会場からは、大川の流れの向こうに、なかのしまの緑が窓一面に広がって見える。

大阪クラブ8月納涼例会は、大きな楕円形のテーブルが部屋の中央にあつて、準会員とも呼ばれる今井利子ワイズ(なかのしまク)を含め、14人の参加者が座り、すでにアットホームな雰囲気の中にある。6時半開会、会長兼司会の牟さんがまず、HHリーダー会の高土雄輔さんのメッセージを読む。最近体調を崩しあまり大阪クラブの例会には出られないですが、以前のHH国際キャンプの楽しかった様子を語っており、今後ともHHリーダー会をよろしく、とのことである。因みに高土さんは、西村智恵さん(直前会長)に替わり、今年度のHHリーダー会の会長になったことが伝えられている。

納涼晚餐には脇本さんが持ち寄ったワインと、6月の熊本区大会でYサ事業最優秀クラブ賞をいただいたときに、北村が堤主任からもらった、熊本で人気の『川辺』焼酎が紹介提供された。その「川辺」をオンザロックで少々いただいたが、甘くて飲みやすい米焼酎でした。

まずは8月6日から行われた台湾でのHH国際キャンプに参加して帰ったばかりの、3人のゲストから話してもらいました。YMCA 保育園の英語の先生である林貴子さんが、海外引率は初めてで、HHキャンパーの方々と寝食を共にして楽しかったこと。笠井賢一郎さんは、HHキャンプは2度目だったが、この国際キャンプがなければ、外国旅行に興味はなかつたろう。見た目から「おかあさん」と呼ばれた、小山怜さんは、今回で4度目の国際キャンプだが、17年前に出会ったHHキャンパーに再会し、相手の人も良く覚えていたこと。いずれも楽しかった思い出ばなしばかり。今回行けなかつた、HHリーダー会の勝矢千晶さんも、国際キャンプには必ずリーダー会の誰かが参加してこれからも継続しなければいけないこと。もう一度林さんも、大阪のHHリーダー会の活動が、海外のスタッフから高く評価されていることをつたえた。続く藤岡さんも、HHリーダー会が疲弊することなく支援の輪を広げていくことの意義、そして継続は力なり、と語った。あとで語った連絡主事の濱添さんも、HH国際キャンプではないが同様な海外キャンプの引率の経験が2度あり、その時の人とのつながりが長くつなげられる意義を話した。

そのあとメンバーも、順に條さん、牟会長、北村、脇本さん、清水さん、濱添さんも、それぞれが異口同音に、この大阪クラブの事業は目立たないが貴重なもので、支援を続けていくことが大切であると、事業の意義をみんなで共有した。その他、藤岡さん、脇本さんは、パサディナクラブとの派遣と受け入れの交流事業を継続する大切さをはなし、清水さん、脇本さんは、現代の日本の親子関係の不安定さ、いのちの大切さの欠如について、特に教育の大切さを話した。さらに清水さんは、他の類似のクラブと違い、ワイズメンズクラブは精神的なものでつながる「心を大切にクラブ」として、とても意味のある活動をしていることを強調した。條さん、脇本メネットは最近の自らの健康不順がやっとひと段落し、なんとか現在は健康を保っているという話。崔メネットは、家でも老老介護というボランティアの現状だが、西成での炊き出しなどのボランティアを長い間続けており、人へのボランティアが自分のためになっていることをはなし、今井



さんは、女性メンバー第1号としてワイズを始め、みんなで歌っているいまのメネットの詩を作詞したり、ワイズの大先輩である木下百太郎さんから言われた「いいことをしている」という信念をもって、42年のワイズ歴。ワイズは今も忙しく、また地域の知識人としても河内長野の市民研究会を楽しんでいる、というおはなし。締めくくりは、来年の大阪クラブ90周年祝会の実行委員長に推薦された清水さんが、90周年祝会の構想を話された。日程は来年11月の「ワイズデーの日」に合わせる。

そのほかそれぞれ近況など語り合い、ニコニコや誕生祝、今後のイベントの紹介などのあいだも、話は途切れることなく、時間をオーバーしたことなど感じさせないほどのひとときでした。

【8月第2例会・役員会報告】

北村 知三

日時：2017年8月17日（木） 19:00～20:30

場所：大阪YMCA 701号室

出席者：牟大盛会長・脇本博・脇本真知子・濱添吉生連絡主事・北村知三

協議事項：

1) ー9月例会：(メネット月間)

9月12日（火）午後6時半から 場所：大阪YMCA 土佐堀館9F（904号室）

例会内容：脇本麻由子先生 「小児医療と国際貢献」 謝礼：1万円

司会：脇本メネット 受付：崔メネット、北村メネット

決定事項：① HHリーダー会を招待し、HH国際キャンプの報告の時間を持つ、

② クラブ支援金10万円を大阪YMCAに贈呈

③ 9月メネット月間として西日本区メネット事業支援金は2万円

ー10月例会の件：BF/EF 強調月間

10月10日（火）午後6時半から 場所：大阪YMCA土佐堀館10F（101号室）

例会内容：スピーカーバンクの宮脇春男氏「モチベーション・プランディング」

司会：豊島メン 謝礼：1万円 受付：清水（汎）、田尻、牟

ー11月例会 講師（候補）：実渕氏または藤岡メン

ー12月クリスマス祝会（今年度は茨木クラブがホスト）

2) 協議事項

①他クラブ周年記念の件

ー大阪茨木クラブ；創立25周年例会 9月2日（土） 11:00～

場所；茨木スカイレストラン 会費；5千円 牟・北村・清水メン参加

ー金沢クラブ；創立70周年例会 9月18日（月祝）

場所；金沢ニューグランドホテル 参加費；1万円 清水メン・メネット参加

ー芦屋クラブ；創立20周年例会 12月23日（土） 13:00～

場所；竹園芦屋 会費；1万円 清水メン・メネット参加

②部会の件

9月23日（土） 中西部会（グランピアH） 13時～16時 会費；1万円

（参加者）牟・清水汎・北村・田尻・脇本博・脇本真知子・條

9月10日(日) 京都部会(参加者:清水汎)、 9月16日(土) 阪和部会(参加者:牟)、
9月18日(月祝) 中部部会(参加者:清水メン・メネット)
9月24日(日) 六甲部会、 10月1日(日) 九州部会、 10月14日(土) 瀬戸山陰部会、
10月28日(土) 西中国部会、 11月5日(日) びわこ部会(参加者:豊島メン)

③その他イベント

- 9月30日(土) EMCシンポジウム 15:00～ 土佐堀館;牟・北村メン
- 10月7日(土) 六甲山に集まろう・YYフォーラム 六甲山YMCA(参加者:牟、田尻、北村)
- 10月15日(日) チャリティラン(鶴見緑地):3組(内1組保育園)合計9万円支援
- 11月3日(金祝) 土佐堀カーニバル:カレーライス300食予定(森嶋メンに依頼済)

④ブリテン編集の件:

9月以後のブリテン記事担当について

例会報告担当者:9月濱添主事、10月田尻、11月脇本メン

【新年度会費納入のお願い】

脇本 博

今期会計のお役目をいただきました。皆様ご協力の程お願い申し上げます。
できるだけ下記の口座への振り込みを利用して頂ければ有りがたいです。

三井住友銀行 玉造支店 普通 口座番号 4078203
名義:脇本 博

前期分が35000円です。
よろしくお願ひ申し上げます。

【大阪YMCAニュース】

濱添 吉生

【九州北部豪雨緊急支援募金のお願い】

大阪YMCAでは、九州北部豪雨緊急支援募金を行います。被災地復旧ボランティア(短期)、子ども達の心のケアキャンプ(中長期)に用いるための募金です。現在、西日本地区YMCAとして支援の具体的な内容を計画中です。皆様の尊いご支援とご協力をお願い申し上げます。

【とさぼりカーニバル】

毎年地域の方々やYMCAに携わる人たちの集いの場となっている『とさぼりカーニバル』を、今年度も開催いたします。カーニバルがYMCAのムーブメントであることを特にこのときに覚え、皆様のご協力のもと、更に盛大に、意味あるプログラムにしたいと願っております。皆様のご参画とご協力をよろしくお願い申し上げます。

開催日時:2017年11月3日(金 祝日)

11:00～15:00(ブース終了は14:00)

【第23回 インターナショナル・チャリティーラン2017】

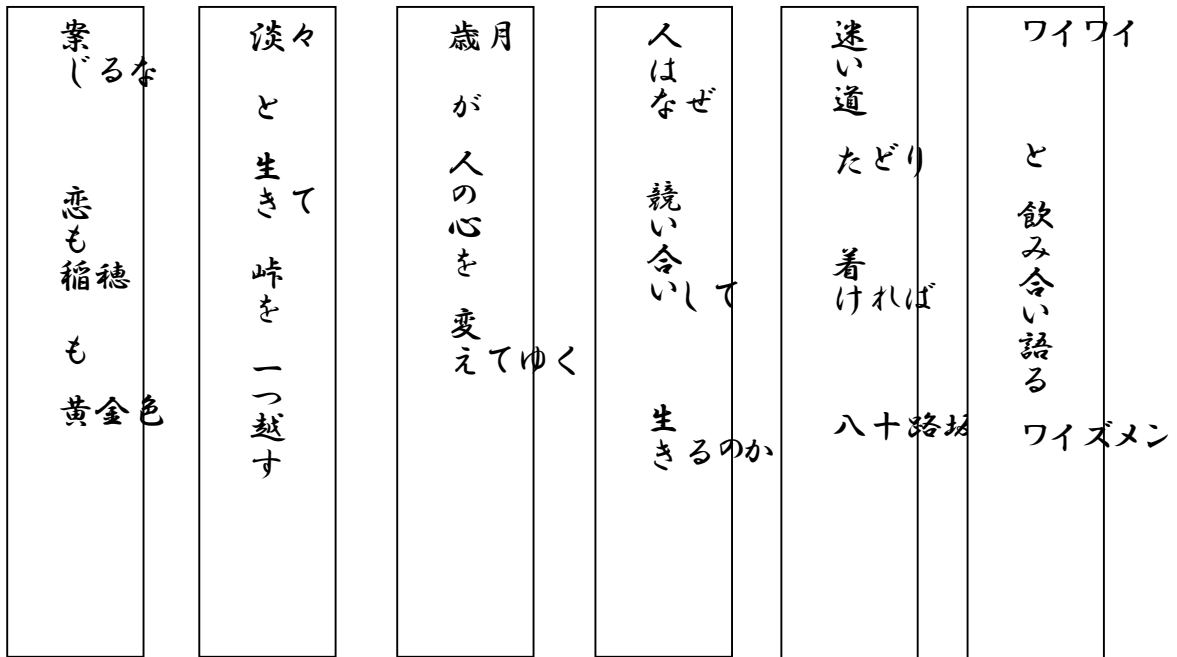
日時…10月15日(日) 9:00~13:00

場所…花博記念公園 鶴見緑地 特設コース

主催…ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区 阪和部・中西部
大阪YMCA

【ワイズ川柳コーナー】

私の作品を含め川柳コーナーを設けました。遠慮なしに投稿下さい。



【編集後記】

今年は戦中、戦後の悲惨な映像が多くテレビにでました。約310万人の多くの戦争の犠牲者の上に我々は平和で平等の世のなかで無事過ごさせて頂いているのです。これ等犠牲者の方に心からご冥福を祈ります。

(編集委員：清水 汎)